

函館市立湯川中学校 生徒指導だより 湯倉ヶ丘の学び舎

【重点指導テーマ】「自分視点から他者視点（広い視野で）」

発行 生徒指導部
令和6年3月1日

第8号

文責：山田好一

赤信号 みんなで渡れば こわくない？



生徒の皆さんは、タイトルの言葉を聞いたことはありますか？

もともとお笑いコンビ、ツービート(コンビの一人はビートたけしさんです)のブラックギャグだったのですが、ギャグを超えて、今では国語辞典にもこの言葉は載っています。

意味：禁止されていることも、集団でならば心理的な抵抗もなく実施してしまえる、といった意味合いの言葉。(weblio 辞書より)

集団心理というのはすごいもので、一人一人では正しい判断ができて、集団では流されやすい、周囲に合わせる、ということが起こります。これは大人でもよくあることです。(実際に心理学でも研究、検証されているのです。)

みんながやっているから大丈夫だろう。

だって、自分だけではないし。

周囲に合わせないと「空気読めない」と思われる。なぜ自分だけ注意される？みんなは？
ついつい、その場のノリで。周囲に合わせて自分もやっただけ。

大人になると、責任は自分で背負うことになります。【自己責任】とも言われます。判断を見誤ると、とんでもない(自分たちだけでは解決できそうにない)事案に発展する可能性があることを忘れてはいけません。そうならないために、「普段の生活をしっかりやろう」となるのです。今ある学校生活を大切にしてください。今年度も残り1ヶ月です。

みなさん正しい判断ができていますか？ぜひ自分を大切にしてください。

それは面白いのか？



(上記の集団心理と重なるところがありますが)

飲食店への迷惑行為が続いています。SNSの普及により周知されやすくなったのもありますが、大きな問題となっています。企業や店舗も毅然とした対応をとるようになってきています。

「ダメだ」と分かっているのに、その場の雰囲気流されてしまうのは要注意です。

最近思うのは、『そのようなこと(迷惑行為)は面白い』という気持ち、つまり【笑いのセンスが必要】ということです。誰かを不快にさせたり、著しいルール・マナー違反をすることを「面白い」「つまらない」と言えるセンスをもってほしいものです。

校外生活の心得について

～保護者アンケートを受けて～

以前、全市保護者の皆様にご協力いただいた、校外生活のきまり(外泊と早朝の外出について)のアンケート結果を受けて今後の方針を記したものを裏面に印刷しております。是非ご覧ください。

市内中学校生徒会の声を受けて、学校・地域の皆様と共に生活の心得について見直す機会となりました。

これからも生徒、学校、地域が連携を図りながら、より良い学校づくりに努めて参ります。よろしくお願いいたします。

今年度の登校日もあとわずか。3年生は卒業間近ですね…。

1, 2年生も次の学年に上がる準備、できていますか？